



年 組 名前

道新でワークシート

トムラウシ山は手付かずの豊かな自然で知られ、日本百名山にも選定されている。大館さんは40年前から登り続け、毎年7月にトムラウシ南沼を同じ地点から撮影してきた。

今回は2004年以降の写真デジタル化して分析。残雪の面積は年によってばらつきがあるものの、総じて減少傾向にあった。05年に沼の表面を覆っていた雪は、14年に沼の周囲に残るだけとなり、今年7月20日に撮



トムラウシ 縮む残雪

紋別・大館さん「南沼」定点観測

【新得】上川管内美瑛町と十勝管内新得町にまたがる大雪山系トムラウシ山(2141m)にあるトムラウシ南沼(新得町)で、夏場の残雪が減り続けている。紋別市の自然公園指導員、大館和広さん(66)が毎年夏に撮影した沼の写真データを比較したところ、約20年前に沼を覆い尽くしていた残雪は年を追うごとに減少し、今夏は確認できなかった。地球温暖化の影響とみられ、沼周辺では生態系の変化も目立つという。

温暖化影響か生態系変化



いずれも大館和広さん撮影

2024年



2014年



2005年

影した際はほぼ雪がなかった。沼は登山道沿いの標高約1900m地点に位置し、登山客は夏場でも残雪で涼を感じることができた。大館さんは「残雪状況の違いに驚いている。気候変動の影響を感じる」と語る。

日本チョウ類保全協会理事で大雪山系の環境調査に取り組む写真家の渡辺康之さん(71)は兵庫県尼崎市に由来し、沼の周辺では国の天然記念物に指定されているチョウ「アサヒビヨウモン」の個体数が減少。チンケルマやエゾコザクラなど高山植物の群落が減る一方、乾燥に強いササの分布が拡大している。

渡辺さんは「長期的にみると、間違いなく温暖化の影響は出ている。今後変化が予想される」と指摘する。(竹中達哉)

2024年11月2日(土) 朝刊 全道版 28ページ (記事は再編集しています)

- (1) トムラウシ山では、地球温暖化の影響で、どのような変化が見られるようになりましたか。
- (2) 地球温暖化対策として、下のようなことが挙げられます。この中から、あなたができることを選び、1週間続けてみましょう。取り組んで考えたことも書きましょう。
- ① 使わない電化製品のコンセントはこまめに抜く。
 - ② テレビや照明は、つけっぱなしにしないで消す。
 - ③ 手洗いや歯磨きの時、水を出しっぱなしにしないで止める。
 - ④ 雑紙やプラスチックなどのごみの分別を正しくする。
 - ⑤ 買い物の時はマイバックを持ち歩き、レジ袋をもらわないようにする。
 - ⑥ 寒い時は暖房に頼りすぎず、衣服で調節する。